

整理番号 S-79

出 展 織物欠点解析事例集(第 2 集)

欠 点 名 よこ斑(糸繋ぎ異常)

品 名 絹紋綸子

試料形態 織物

組 織 絹紋綸子

糸 使 い

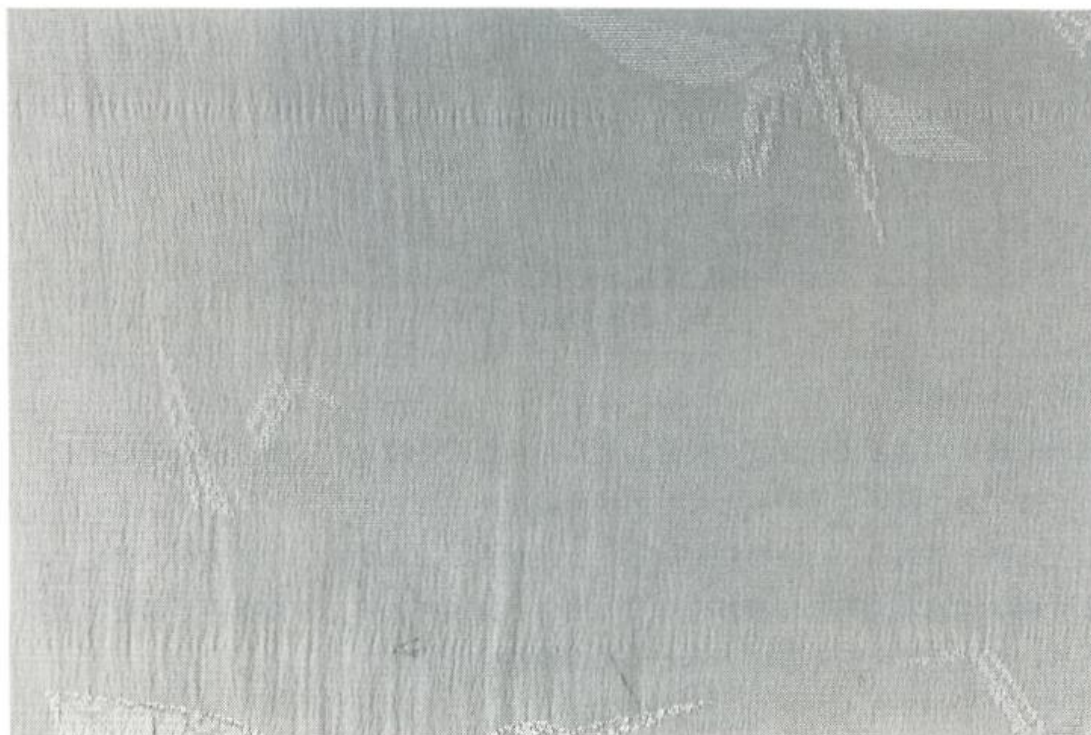
たて糸:生糸 27 中 2 本揃え

よこ糸:生糸 21 中 (S,Z)2,800T/m 2 本交互

欠点発生状況

生機では異常が発見されなかったが、精練仕上げ後に 1 反の 2~3 か所に 4~5mm の長さのたてじわが全幅にわたって発生してよこ斑となっている。

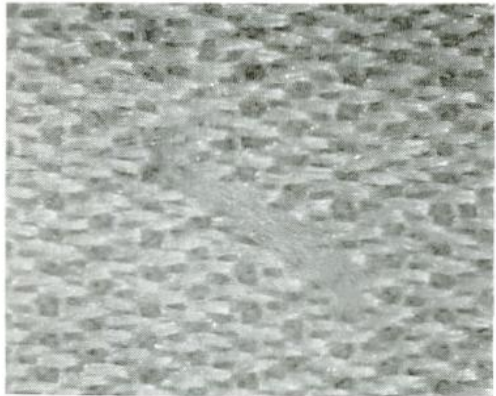
試料写真



試験結果

(1)マイクロスコープ観察

・よこ斑になっている部分には節状のものが織込まれており、これは継ぎ節であることが判った。



つなぎ節の拡大写真

(2)撚数測定

正 常 部	欠 点 部	↓	欠点系（S撚糸）の撚数変化（T/m）
Z 2,820	S 2,816 → S 2,026		2,644
" 2,812	→ " 2,644 → " 1,908		2,520
S 2,852	Z 2,920 Z 2,816		2,372
" 2,956	" 2,956 " 2,832		2,026
Z 2,784	→ S 2,520 → S つなぎ節 (測定不能)		1,908
" 2,880	→ " 2,372 → " 2,680		(つなぎ節)
S 2,848	Z 2,932		2,680
" 2,920	" 2,792		
	↓		

所 見

マイクロスコープ観察および撚数測定の結果、撚糸の継ぎ節を境にして撚数が次第に変化している。このために加工後の収縮に差を生じてしわ状のよこ斑が生じたものと判明した。この撚り異常の原因としては撚糸中あるいは撚数の節取り仕上げ巻きの際に切断した糸が、燃り戻りを起こし、そのまま繋がれたために甘撚りとなったものと推定される。片強撚糸の場合には特に撚り戻りが大きいので捨て糸を充分にとることに留意を要する。